様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	鹿児島医療技術専門学校
設置者名	学校法人　原田学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課　　程	看護学科(新課程)	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	看護学科(旧課程)	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	診療放射線技術学科(新課程)	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	診療放射線技術学科(旧課程)	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	作業療法学科	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	理学療法学科	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
	言語聴覚療法学科(新課程)	夜･通信	320 単位時間	320 単位時間	
	言語聴覚療法学科(旧課程)	夜･通信	330 単位時間	320 単位時間	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜･通信	180 単位時間	160 単位時間	
（備考） 看護学科・診療放射線技術学科・言語聴覚療法学科は令和 4 年度より，それぞれ教育課程を変更したため，新課程(上段)，旧課程（下段）に分けて記載					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/school/curriculum/#syllabus

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	鹿児島医療技術専門学校
設置者名	学校法人　原田学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2022/members202210.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	迫公認会計士事務所	2022.10.28～2025.10.27	財務担当
非常勤	㈱鹿児島ﾌﾟﾛｽﾎﾟｰﾂﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ代表取締役	2022.10.28～2025.10.27	ガバナンス担当
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島医療技術専門学校
設置者名	学校法人　原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） １）授業計画書の作成 教育理念 → 教育目標 → 期待する卒業生像 → 教育内容の検討→ 科目の選定 → 教育進度及び科目担当者の決定 → 指導計画の作成 上記の流れで、教育目標との関連や整合性を考慮し、教育内容、科目目標を意識して、授業計画書の作成へと入り、学習指導案を作成する。 授業計画書(シラバス)の内容としては、科目名・講師名・単位数・時間数・授業学年・開講時期・必修選択・科目目標・科目内容（回数・学習のねらい・方法・留意点)・受講上の注意・成績評価の方法・テキスト、参考書等を記載している。 また、専門科目に関しては、実務経験の有無を表記している。 ２）公表に係る取組み 授業計画書は、学科ごとにホームページ上にて公表（公表時期：3 月末頃）して、学生、教職員のみでなく、一般の方が閲覧できる状況になっている。
授業計画書の公表方法　https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/school/curriculum/#syllabus
2．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） 学習評価については、各科目の授業計画書（シラバス）の中に、「成績評価の方法」の項目をつくり学生へ提示している。 学則・単位認定及び修得認定規程に定めている学習の評価は以下のとおりである。 １）学則に定める学習の評価 ①学習の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。 ②授業科目の学修の評価は、試験、レポート等により、授業担当教員が評定をする。 ③単位の認定における試験については、授業科目の授業総時間数 3 分の 2 以上出席した場合に限り受験を認める。 ２）単位認定及び修得認定規程の定める学習の評価 ①授業科目の評定は、試験成績並びに出席状況、日頃の学習状況及び学習報告等を加味して行う。詳細は講義要綱（シラバス）で示す。 ②試験の成績は、100 点満点で評価し、60 点以上を合格とし、60 点未満を不合格とする。成績を評語で表す場合は、90 点以上を秀、90 点未満 80 点以上を優、80 点未満 70 点以上を良、70 点未満 60 点以上を可、60 点未満を不可とする。 ③前項の評語にグレードとグレードポイントを付与し、グレードポイントの平均値(以下「GPA」という)を算出して学生の総合的な学習到達度を評価する。 ④前項に基づき付与するグレードとグレードポイントは、秀はＡと４点、優はＢと３点、良はＣと２点、可はＤと１点、不可はＦと０点とする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

単位認定及び修得認定規程」は下記の通り定めている

1 授業科目の評定は、試験成績並びに出席状況、日頃の学習状況及び学習報告等を加味して行う。詳細は講義要綱で示す。
2 試験の成績は、100 点満点で評価し、60 点以上を合格とし、60 点未満を不合格とする。成績を評語で表す場合は、90 点以上を秀、90 点未満 80 点以上を優、80 点未満 70 点以上を良、70 点未満 60 点以上を可、60 点未満を不可とする。
3 前項の評語にグレードとグレードポイントを付与し、グレードポイントの平均値（以下「GPA」という）を算出して学生の総合的な学習到達度を評価する。
4 前項に基づき付与するグレードとグレードポイントは、秀はＡと４点、優はＢと３点、良はＣと２点、可はＤと１点、不可はＦと０点とする。
5 第３項に基づき算出する GPA の計算式は以下のとおりとする。
GPA＝(A の単位数×4 点＋B の単位数×3 点＋C の単位数×2 点＋D の単位数×1 点)／(総履修登録単位数)
6 成績の評価は、評価点又は評語をもって表し、合否の認定は次の基準によるものとする。

認定	評価点	評語	グレード	グレードポイント	成績評価内容
合格	100～90 点	秀	A	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	89～80 点	優	B	3	到達目標を十分に達成している
	79～70 点	良	C	2	到達目標を達成している
	69～60 点	可	D	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59 点以下	不可	F	0	到達目標を達成していない

＊単位認定科目により単位を修得した科目の成績評価は認（認定）の評語で表す。ただし、単位認定科目及び他大学等単位互換により単位を修得した科目の成績評価はＧＰＡ算出の計算外とする。

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/wp-content/uploads/2023/04/令和５年度-学則等.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業に関する規程を定め、卒業の判定については、以下の通りとしている。 1　本校の看護学科、診療放射線技術学科、作業療法学科、理学療法学科、言語聴覚療法学科は4年以上在学、介護福祉学科は2年以上在学し、その間に必修科目及び選択必修科目を履修して、所定の単位を修得したものは卒業を認める。 2　卒業年次の学費未納がある場合、卒業は認めない。 3　卒業の可否については、各学科での審議を経て、運営会議（卒業判定会議）にて決定する。 4　卒業の可否については、会議後速やかに通知する。 「ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」については、以下の通りとしている。 本校は、進展する医療・保健・福祉に対応できる質の高い知識と技術の教育を目指し、実践力をもつ有能な人材を育成する。そして各学科で定めた所定の単位を修得し、所定の能力を備えた学生の卒業を認定し、学位（高度専門士及び専門士）を授与する。 (1)幅広い知識や教養と優れた判断力を持ち、豊かな人間性を兼ね備えている。 (2)高い専門性と倫理性をもって社会へ貢献する強い意志と自覚を持ち、現場のスペシャリストとして活躍していく意思がある。 (3)他職種を理解し、他者とのコミュニケーションを図り、主体的に課題解決をして いく姿勢がある。 (4)技術の進展と自身の職務との関連性を理解し、専門職としての順応性を有する。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	「卒業規程」 https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/wp-content/uploads/2023/04/令和5年度-学則等.pdf 「ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針」 https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/wp-content/uploads/2020/05/3つのポリシー.pdf

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	鹿児島医療技術専門学校
設置者名	学校法人　原田学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2023/balance.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2023/statement.pdf
財産目録	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2023/property.pdf
事業報告書	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2023/business_report.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.harada-gakuen.ac.jp/files/2023/audit_report.pdf

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

【看護学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	看護学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3815単位時間	2765単位時間	0単位時間	1050単位時間	0単位時間	0単位時間
			3815単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320人	270人	0人	22人	80人	102人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 1.授業方法及び内容 授業計画書（シラバス）に科目内容として、学習のねらい、方法、学習上の留意点として明示しており、授業方法は、講義及び演習、実験、実習及び実技等がある。内容については、授業回数別に表記している。 2.年間の授業計画 毎年、2月に講義依頼と同時に授業計画を立てている。そして、決定した授業計画は学生へ提示している。
成績評価の基準・方法
（概要） 1.授業科目の評定は、試験成績並びに出席状況、日頃の学習状況及び学習報告等を加味して行う。詳細は講義要綱で示す。 2.試験の成績は、100点満点で評価し、60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。成績を評語で表す場合は、90点以上を秀、90点未満80点以上を優、80点未満70点以上を良、70点未満60点以上を可、60点未満を不可とする。 3.前項の評語にグレードとグレードポイントを付与し、グレードポイントの平均値（以下「GPA」という）を算出して学生の総合的な学習到達度を評価する。 4.前項に基づき付与するグレードとグレードポイントは、秀はAと4点、優はBと3点、良はCと2点、可はDと1点、不可はFと0点とする。

卒業・進級の認定基準
（概要） 1.卒業判定基準 ①本校の看護学科、診療放射線技術学科、作業療法学科、理学療法学科、言語聴覚療法学科は4年以上在学、介護福祉学科は2年以上在学し、その間に必修科目及び選択必修科目を履修して、所定の単位を修得したものは卒業を認める。 ②4年次の学費未納がある場合、卒業は認めない。 ③卒業の可否については、各学科での審議を経て、運営会議（卒業判定会議）にて決定する。 2.進級判定基準 ①進級については、原則として各学科の定める１年次、２年次、３年次で開講している全ての必修科目並びに必要な選択必修科目の単位を修得すること。 ②その年度の学費未納がある場合、また、不認定科目（学則第16条３項により受験資格を満たさず、認定試験を受験できずに単位認定を認められなかった科目）のある場合には、進級は認めない。 ③その年度の不合格科目が２科目以下の場合、審議のうえ進級を認めることがある。ただし、不合格科目については、次年度に受験することとする。なお、受験して不合格の場合の再試験は、単位認定及び修得認定規程 第11条２項によるものとする。 ④進級の可否については、各学科での審議を経て、運営会議（進級判定会議）にて決定する。
学修支援等
（概要） ①教員による委員会活動（学力向上委員、国家試験対策委員、技術向上委員）を行い、知識の定着、看護技術習得の向上、国家試験対策の活発化を図る。 ②学生個々の課題を明確にし、個別的な指導を行う。 ③研究授業やFD研修などによる授業力の向上を図る。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37人 （100%）	2人 （5.4%）	35人 （94.6%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・診療所・福祉施設・企業　/　医療・福祉・企業など			
（就職指導内容） 学内職種別就職ガイダンス・外部による職種別セミナー・個別面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
249人	13人	5.2%

（中途退学の主な理由） 進路変更，学業不振，学校生活不適応，病気
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生と面談にて状況を把握し、精神面が不安定な学生にはカウンセラーと連携を図る。学業不振の学生を早期に把握し補習講義や学習方法への支援。実習後の知識活用を促進させるなど学力向上への取り組みを実施。

【診療放射線技術学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	診療放射線技術学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3430 単位時間	2040 単位時間	310 単位時間	840 単位時間	195 単位時間	45 単位時間
			3430 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320 人	302 人	0 人	10 人	48 人	58 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
学修支援等
（概要） 成績不良の学生に対しては、早い段階で、担任もしくは学科長による面談を行い、学修に対する指導を行っている。また、教員が交代で 19:30 まで残り、教室を開放し、学習できる環境つくりにも努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
58 人 （100%）	3 人 （5.2%）	46 人 （79.3%）	9 人 （15.5%）
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・診療所・福祉施設・企業　/　医療・福祉・企業など			
（就職指導内容） 学内職種別就職ガイダンス・キャリアセンターによる教育・個別面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療放射線技師国家試験受験資格、放射線取扱主任者第 1 種・第 2 種等			

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
286 人	5 人	1.7%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期に個人面談もしくは三者面談を行っている。		

【作業療法学科】

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		医療専門課程	作業療法学科				○
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3645 単位時間	1980 単位時間	30 単位時間	1125 単位時間	0 単位時間	510 単位時間
			3645 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	79 人	0 人	6 人	35 人	41 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
学修支援等
（概要） 欠席が連続した場合、学生への連絡・面談等を実施する。さらに欠席が続く場合は、家族への連絡を行い、登校を促す。夏休み期間に特別補習等を実施し、履修科目の定着を図る。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	0 人 （0%）	17 人 （94.4%）	1 人 （5.6%）
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・診療所・福祉施設・企業　／　医療・福祉・企業など			

（就職指導内容） 学内職種別就職ガイダンス・外部による職種別セミナー・個別面談　など
（主な学修成果（資格・検定等）） 作業療法士国家試験受験資格、福祉住環境コーディネーター2 級
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
77 人	1 人	1.3%
（中途退学の主な理由） 学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任・副担任および学科長・副学科長が連携し、成績不振学生および心理面が不安定な学生のフォローを行っている。成績不振学生に対しては、空きコマ・放課後等の個別指導や長期休暇中の補習の機会を設けている。心理面が不安定な学生に対しては、学校カウンセリングの促しや保護者との綿密な連携などのフォローを行っている。		

【理学療法学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	理学療法学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3600 単位時間	1635 単位時間	90 単位時間	1035 単位時間	0 単位時間	840 単位時間
			3600 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320 人	207 人	0 人	9 人	35 人	44 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
学修支援等
（概要） 欠席学生ならびに保護者と電話で対応する。当該学生の希望に応じて、直接面談を実施することもある。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
60 人 （100%）	0 人 （0%）	57 人 （95.0%）	3 人 （5.0%）
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・診療所・福祉施設・企業　/　医療・福祉・企業など			
（就職指導内容） 学内職種別就職ガイダンス・外部による職種別セミナー・個別面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格、福祉住環境コーディネーター2 級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
229 人	6 人	2.6%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任と学生との面談を年に 2 回実施。クラス担任は、ホームルームや講義において、学生の心理的反応を把握するように努める。成績が低迷している学生に対しては、放課後等に個別の学習進度に応じた支援を実施する。		

【言語聴覚療法学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門課程	言語聴覚療法学科		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4 年	昼	3520 単位時間	2150 単位時間	725 単位時間	615 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			3520 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160 人	78 人	0 人	6 人	49 人	55 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ

学修支援等
（概要） 欠席の学生・保護者に対し電話対応をする。また、当該学生に応じて、直接面談を実施する。リモート対応が可能な講義では必要に応じてこれを実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15 人 （100%）	0 人 （0%）	10 人 （66.7%）	5 人 （33.3%）
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・診療所・福祉施設・企業　/　医療・福祉・企業など			
（就職指導内容） 学内職種別就職ガイダンス・外部による職種別セミナー・個別面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 言語聴覚士国家試験受験資格、NLP プラクティショナー			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	4 人	4.8%
（中途退学の主な理由） 学業不振、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任による面談を適宜実施し、学業及び心理的フォローを行っている。また、心理的不安が強い学生においてはスクールカウンセリングを利用することを提案している。教員学生間だけでなく保護者との連携を図っている。		

【介護福祉学科】

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2115 単位時間	1020 単位時間	645 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2115 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80 人	24 人	2 人	4 人	16 人	20 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ

成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の４－② ２．教育活動に係る情報　①学科等の情報【看護学科】の記載と同じ
学修支援等
（概要） 定期的に担任による面談を行い、生活面、成績面で不安がある場合は個別指導を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14 人 （100%）	0 人 （0%）	14 人 （100%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム・障害者支援施設・有料老人ホーム・病院 など			
（就職指導内容） 就職ガイダンス・外部による職種別セミナー・個別面談　など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験受験資格、レクリエーション・インストラクター			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30 人	2 人	6.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任および教職員は、ホームルームや講義にて学生の状況を把握し、必要に応じて面談を含め積極的関与に努める。成績低迷者については、放課後等に個別の学習進度に応じて相談や科目補習等の支援を実施する。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看　護　学　科	200,000 円	760,000 円	300,000 円	在籍管理費，施設管理費
診療放射線技術学科	300,000 円	950,000 円	300,000 円	在籍管理費，施設管理費
作業療法学科	300,000 円	900,000 円	300,000 円	在籍管理費，施設管理費
理学療法学科	300,000 円	950,000 円	300,000 円	在籍管理費，施設管理費
言語聴覚療法学科	300,000 円	900,000 円	300,000 円	在籍管理費，施設管理費
介護福祉学科	120,000 円	600,000 円	130,000 円	在籍管理費，施設管理費
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/school/johokoukai/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

【評価項目】
1.教育理念・目標、2.学校運営、3.教育活動、4.学習成果、5.学生支援、6.教育環境、7.学生の受け入れ募集、8.財務、9.法令等の遵守、10.社会貢献・地域貢献、11.国際交流

【学校関係者評価委員会の構成】
委員会は、次に掲げる区分のうちから選任する委員により構成する。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
1.専門分野における業界関係者、2.卒業生、3.保護者、4.地域住民、5.高等学校等の校長等、6.学校運営に関する専門家、7.地域の地域公共団体等の関係者、8.当該分野における評価の専門家

【学校関係者評価結果の活用方法】
自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の結果の公表(公表時期：9月頃予定)により、適切に説明責任を果たすとともに、教職員は、結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努める。
具体的には、学校評価を実施する上での役割を果たす学内委員会の評価委員会にて、学校関係者評価結果をまとめ、学内の決議機関である運営会議にて報告を行い、本校ホームページに公表するとともに、評価結果を活用するため、評価項目において関連する学内委員会等（教育委員会、学生委員会、入試委員会、財務委員会等）にて、今後の改善方策を検討し、具体的取組みの改善を図る。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
公益社団法人 鹿児島県看護協会 会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日（2年）	専門分野における 業界関係者
一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会 副会長	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日（2年）	専門分野における 業界関係者
一般社団法人 鹿児島県介護福祉士会 理事	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日（2年）	専門分野における 業界関係者

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会　副会長	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	専門分野における業界関係者
公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 副会長	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	専門分野における業界関係者
一般社団法人 鹿児島県言語聴覚士会 理事	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	専門分野における業界関係者
公益社団法人 鹿児島共済会 南風病院 医療技術部放射線技術科　技師長	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	専門分野における業界関係者
国立大学法人 鹿児島大学 教育学部 准教授	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	学校運営に関する専門家
公益社団法人 鹿児島市医師会病院 看護師	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	卒業生
社会福祉法人 桜岳会　経営企画部長	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	卒業生
株式会社 カクイックスウィング 営業本部 教育担当 スーパーバイザー	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	卒業生
メディカルリテラシーラボ　代表	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	卒業生
社会福祉法人向陽会 地域医療･福祉ステーション ひまわり病院　言語聴覚士	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	卒業生
鹿児島県立錦江湾高等学校 教頭	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	高等学校等の校長等
平川まちづくり協議会 会長	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	地域住民
鹿児島医療技術専門学校 保護者	令和４年４月１日～ 令和６年３月31日（２年）	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/school/johokoukai/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.harada-gakuen.ac.jp/igisen/